

# グローバル化に対する意識と日本人らしさ

## ～訪日外国人数の増加を通じて～

沓掛 雅哉（文教大学情報学部メディア表現学科）

### 1. 調査研究の目的と背景

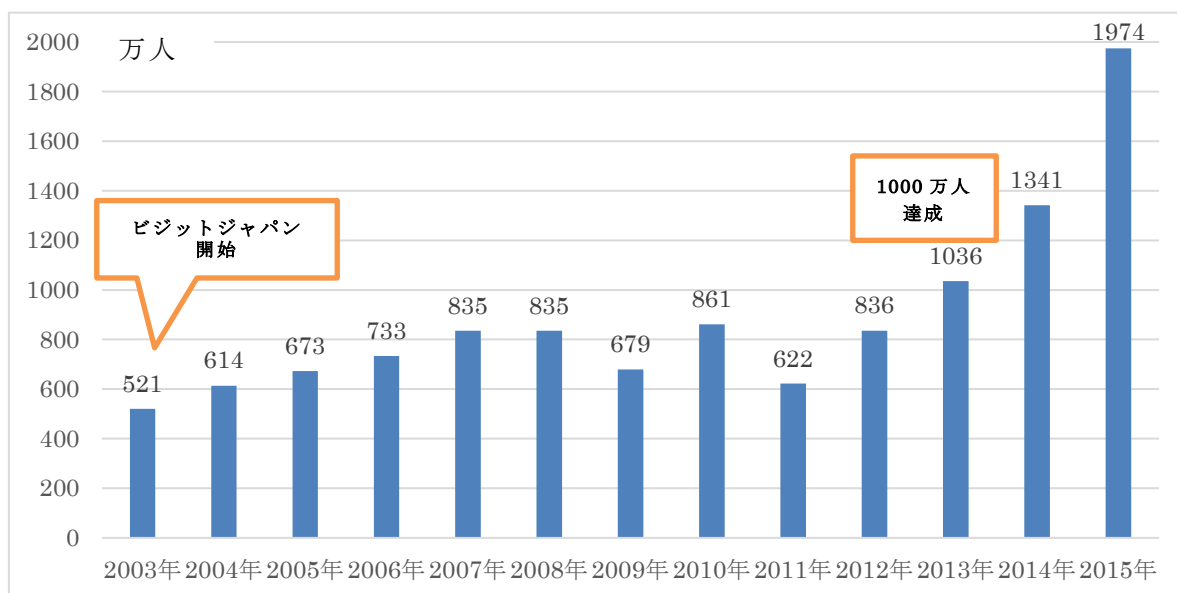
グローバル化の進行によって、日本の社会に変化が表れている。2003年から、国土交通省が中心となって積極的な訪日外国人の取り込みを行ったビジットジャパン事業。ビジットジャパン事業は国と地方公共団体、民間が共同で行った訪日外国人数の増加を目的とした大規模キャンペーンである。このビジットジャパン事業開始以降、訪日外国人数は飛躍的に増加し、2000万人にも達する勢いである。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、今後さらなる訪日外国人数の増加が見込まれる。成田空港や羽田空港は、訪日外国人数増加への対策として国際線発着回数を増やしている。羽田空港では現行の一時間当たり80回から90回まで増やし、年間では約6万回の現状から約9.9万回となる計算だ。（マイナビニュース、2016）こうした国や地方公共団体、民間の積極的な訪日外国人政策によって、日本社会は経済的・政治的に大きく変わってきている。

日本人の生活や意識にも変化が表れている。世界各地を結ぶ情報通信・運輸交通手段が急速に発展し、地球上の空間的・時間的距離が縮小し、ヒト・モノ・カネ・サービスのみならず、情報、文化（宗教・イデオロギー、思想など）、そして技術などの国境を越えた移動や交流・伝播が活発化している。こうした動きによって、日本でも文化の多様化が進んでいる。朝食はお米ではなく、パンをよく食べる。リビングは畳ではなくフローリング。ビジネスシーンでは英語を話す。このように海外のモノや言語を利用するといった生活上の変化がみられる。

「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」によると、海外留学に行く日本人学生の数は2009年の3.6万人から2014年には8.1万人に増えており、外国人との交流意識の面でも変化が表れている。（日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」）こうした海外経験の有無によっても、生活や意識に変化が見られる。「日本人学生の留学体験と自己に関する意識の変化に関する縦断的研究」によると、留学体験のある人は『性格・行動変化』や『考え方・価値観の変化』、『生き方の変化の契機』に変化が見られることが明らかとなっている。（早矢仕、2002）

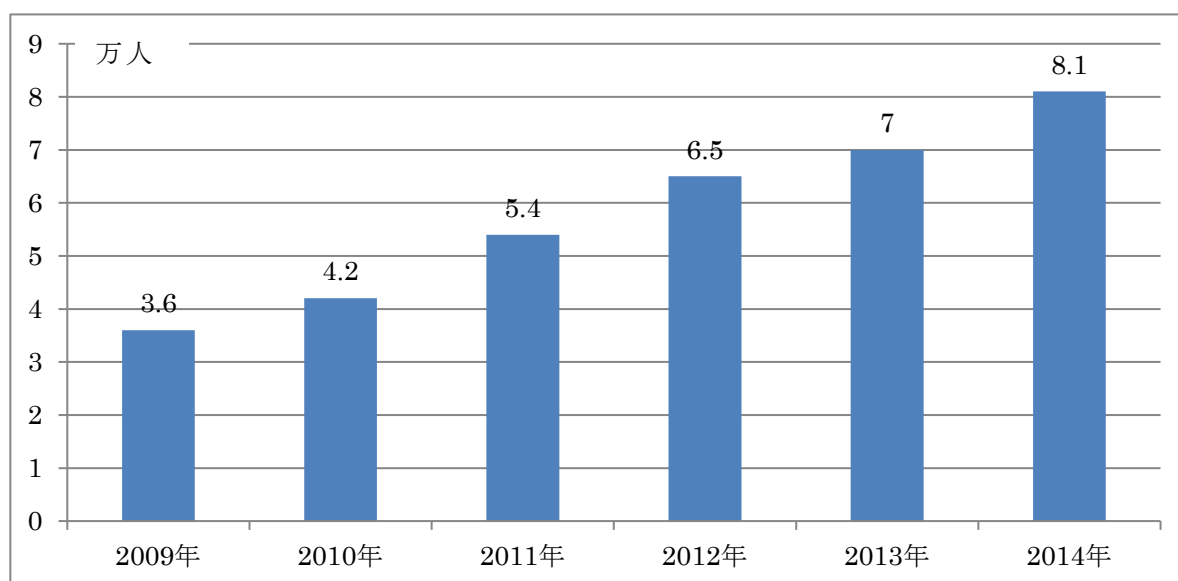
私自身ヨーロッパに留学した際に、留学前と後では「違う人みたい」と言われるほど生活や意識に変化が表れた。暗かった性格は明るくなり、何事にも積極的に取り組むようになったり、日本や外国のことが好きになったりした。留学体験により、『自分らしさ』や『自分自身の意識』に変化が表れたのである。

資料-1. 訪日外国人旅行者数の推移



※JNTO（日本政府観光局）の公開データを基に筆者作成

資料-2. 日本人学生留学者の推移



※JASSO調査:「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」((独)日本学生支援機構)の公開データを基に筆者作成

私はこうした日本社会や日本人の生活や意識の変化によって、『日本人らしさ』や『自分らしさ』に変化が表れてきているのではないかと考え、本調査を行った。そこで本調査の目的を、「日本社会や日本人の生活が変化してきている現代だからこそ感じる『日本人らしさ』と『自分らしさ』の違いを明らかにすること」、「グローバル化に対する意識の差によって、『日本人らしさ』と『自分自身の意識』がどのように変化

しているのかを明らかにすること」とする。それらを解析するために5つの仮説を立てた。仮説①「『日本人らしさ』と『自分らしさ』には差が出始めている」。仮説②「海外に行ったことがある人ほど、外国や外国人に対する意識が好意的に変わってきている。または、日本や日本文化を大切にしようとする」。仮説③「外国人との交流の機会を求める人ほど、外国や外国人に対する意識が好意的に変わってきている。または日本や日本文化を大切にしようとする」。仮説④「訪日外国人対策に賛成している人と反対しているで『日本人らしさ』に差が見られる」。仮説⑤「日本や外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人で『日本人らしさ』に差が見られる」。これらが正しいかどうか、明らかにしていきたい。

また『日本人らしさ』と『自分らしさ』については、グローバル化の進行によってどれだけ変化したかを明らかにするために、2003年のビジットジャパン以前に社会法人倫理研究所が行った『日本人らしさとは何か？～定量調査で明らかにする日本人としての気質・世界観・倫理観～』で取り上げられた67項目から抜粋、または類似した項目はまとめ、調査を行った。この67項目は、ビジットジャパン以前に、『日本人らしさ』として考えられたものであり、グローバル化が進行した現代では『日本人らしさ』として挙げられない項目が含まれていると考えられる。そのため『日本人らしさ』と『自分らしさ』がグローバル化の進行によって、どれだけ変化したかを明らかにするためには、最適な項目であるといえる。また抜粋は予備調査にて、『日本人らしさ』と『自分らしさ』の違いが鮮明に出る項目は何かを事前に調べを行った。

## 2. 調査研究の方法

### 2-1. 調査概要

#### 2-1-1. 目的

調査の目的は、日本社会や日本人の生活が変化してきている現代だからこそ感じる『日本人らしさ』と『自分らしさ』の違いを明らかにすること。また、グローバル化に対する意識の差によって、『日本人らしさ』と『自分自身の意識』がどのように変化しているのかを明らかにすることである。予備調査の結果を基に質問項目を選定し、より精度の高い結果を得られるよう工夫した。

#### 2-1-2. 主な質問項目

- ・日本人らしさについて
- ・自分らしさについて
- ・自分自身の意識について
- ・海外旅行経験の有無について
- ・海外の情報（ニュース、トレンド）に触れる機会について
- ・日本のグローバル化について
- ・日本と外国の違いについて
- ・外国人との交流について

### 2-1-3. 実施概要

#### -実施方法-

調査票を用いた自記式の集合調査

#### -実施場所-

文教大学湘南校舎

#### -調査対象者-

文教大学湘南校舎の以下の学生

- ・アニメーション文化論の受講生
- ・井徳ゼミナールの学生

#### -実施日時-

「アニメーション文化論」 2017 年 1 月 13 日 (金)

「井徳ゼミナール」 2017 年 1 月 14 日 (土)

#### -調査主体-

沓掛雅哉

#### -依頼数・有効回答数-

依頼数 127 名 有効回答数 112 名 88.1%

#### -対象者特性-

男性 64 名 57.1% 女性 45 名 40.2% 無回答 3 名 2.7%

情報学部広報学科 10 名 8.9%

情報学部システム学科 39 名 34.8%

情報学部メディア表現学科 40 名 35.7%

情報学部情報社会学科 17 名 15.2%

無回答 6 名 5.4%

## 3. 調査研究の結果

### 3-1. 仮説①「『日本人らしさ』と『自分らしさ』には差が出始めている」に関する調査結果

#### 3-1-1. 『日本人らしさ』について

『日本人らしさ』の要素を整理するために因子分析を行った。その結果を表したのが図表-1 である。因子分析の結果、日本人らしさには 7 つの因子があることが分かった。第 1 因子には「礼儀や規律を重んじ誠実」、第 2 因子には「チャレンジ精神」、第 3 因子には「調和を重んじる」、第 4 因子には「つながりを大切にする」、第 5 因子には「正義感が強く細部にこだわる」、第 6 因子には「追求心」、第 7 因子には「自由」と名付けた。

図表-1. 『日本人らしさ』と『自分らしさ』(n=112)

	成分						
	礼儀や規律を 重んじ誠実	チャレン ジ精神	調和を 重んじる	つながりを 大切にする	正義感が強く 細部にこだわる	追求心	自由
礼儀正しい	.765	.044	.195	.071	.228	.130	.005
約束事や規律 を重んじる	.763	.096	.150	.055	.136	.070	.108
献身的である	.538	.072	.258	.226	.046	.386	.195
正々堂々を好 む	.508	.414	.041	.405	.170	-.037	-.043
多様性や柔軟 性を重視する	.108	.843	.001	-.036	-.086	.048	-.011
好奇心が強い	.098	.761	-.066	.158	.168	-.017	.101
創意工夫の精 神に富んでいる	.140	.669	.119	.192	.069	.058	-.081
応用力や実践 力がある	-.031	.652	-.087	.012	.031	.468	-.022
あれもこれも 大事だと考える	-.106	.426	.360	.096	.414	.105	.020
目立たないよ うにしようと する	.284	-.069	.768	.068	-.057	.139	.127
イエスノーを はっきりと言 わない	.354	-.023	.765	.005	-.065	.016	.097
自分の価値を 周りと比較し てはかる	-.041	.112	.735	.138	.215	.140	-.143
仲良くするこ とを大切にする	-.033	.205	.073	.759	.254	-.045	.156
自然とつなが っているとい う意識が強い	.287	.058	-.030	.703	.022	.303	-.139
義理人情に厚 い	.535	.185	.089	.596	.040	-.088	.020
個より共同体 を優先する	-.102	-.040	.324	.487	.477	-.181	.211
人の生き方や あり方の美し さにこだわる	.268	.108	.299	.486	-.062	.380	.105
盗みを嫌う	.159	.054	-.168	.018	.751	.141	.096
ものを大切に する	.469	.252	-.059	.153	.539	.082	.177
真面目である	.449	-.019	.205	.260	.526	-.021	.167
使命感・責任感 が強い	.435	.163	.132	.055	.455	.213	-.244
控え目・謙虚で ある	.345	-.005	.274	.032	.448	-.070	.442
きれいだ好きで ある	.211	.066	.240	.232	.431	.185	-.368
高いレベルを 追求する	.021	.013	.231	-.073	.109	.779	.055
粘り強い	.221	.304	.027	.208	.167	.576	.066
思想、信条、宗 教に囚われない	.084	-.011	.104	.067	.166	.128	.788
悪意が少ない	.388	.105	-.240	.266	-.081	.372	.468

### 3-1-2. 『日本人らしさ』と『自分らしさ』の差

『日本人らしさ』と『自分らしさ』に差があるのかを調べるために対応のあるサンプルの T 検定を行った。その結果を表したのが図表-2 である。

第 1 因子「礼儀や規律を重んじ誠実」を構成する 4 項目中 3 項目（「礼儀正しい」 $(t=5.700, df=111, p<.01)$ 「献身的である」 $(t=3.956, df=111, p<.01)$ 「正々堂々を好む」 $(t=-5.155, df=111, p<.01)$ ）で有意差が見られた。（有意差が見られた項目の割合：75%）

第 2 因子「チャレンジ精神」を構成する 5 項目中 2 項目（「多様性や柔軟性を重視する」 $(t=-4.457, df=111, p<.01)$ 「好奇心が強い」 $(t=-7.497, df=110, p<.01)$ ）で有意差が見られた。（有意差が見られた項目の割合：40%）

第 3 因子「調和を重んじる」を構成する 3 項目中 3 項目（「目立たないようにする」 $(t=3.770, df=111, p<.01)$ 「イエスノーをはっきり言わない」 $(t=7.695, df=111, p<.01)$ 「自分の価値を周りと比較してはかる」 $(t=2.240, df=108, p<.05)$ ）で有意差が見られた。（有意差が見られた項目の割合：100%）

第 4 因子「つながりを大切にする」を構成する 5 項目中 3 項目（「自然とつながっているという意識が強い」 $(t=3.286, df=111, p<.01)$ 「個より共同体を優先する」 $(t=5.778, df=111, p<.01)$ 「人の生き方やあり方の美しさにこだわる」 $(t=3.614, df=111, p<.01)$ ）で有意差が見られた。（有意差が見られた項目の割合：60%）

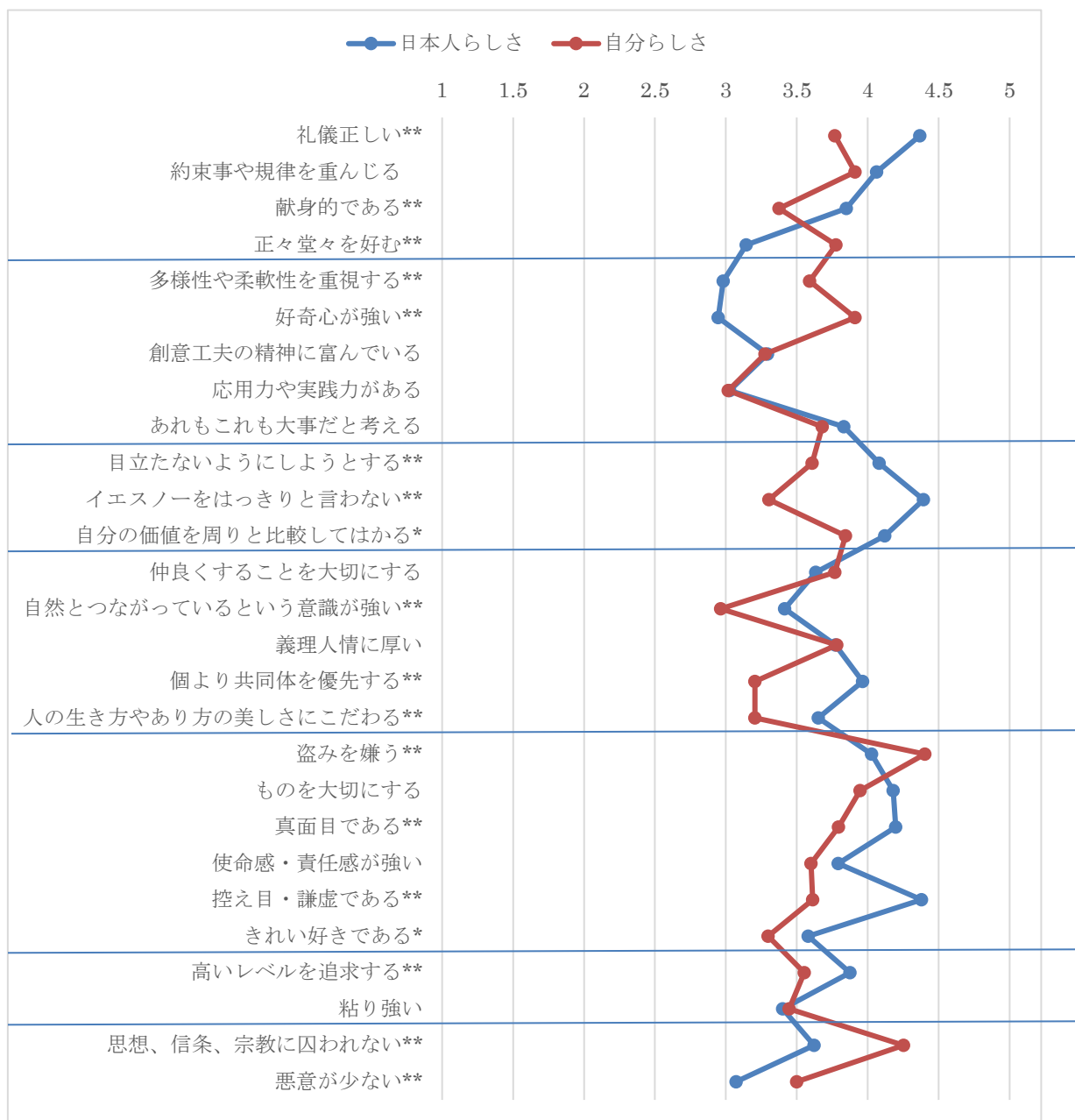
第 5 因子「正義感が強く細部にこだわる」を構成する 6 項目中 4 項目（「盗みを嫌う」 $(t=-3.389, df=111, p<.01)$ 「真面目である」 $(t=4.008, df=111, p<.01)$ 「控え目・謙虚である」 $(t=6.140, df=110, p<.01)$ 「きれい好きである」 $(t=2.159, df=110, p<.05)$ ）で有意差が見られた。（有意差が見られた項目の割合：66%）

第 6 因子「追求心」を構成する 2 項目中 1 項目（「高いレベルを追求する」 $(t=2.668, df=111, p<.01)$ ）で有意差が見られた。（有意差が見られた項目の割合：50%）

第 7 因子「自由」を構成する 2 項目中 2 項目（「思想、信条、宗教に囚われない」 $(t=-4.788, df=110, p<.01)$ 「悪意が少ない」 $(t=-3.197, df=111, p<.01)$ ）で有意差が見られた。（有意差が見られた項目の割合：100%）

この結果からそれぞれ各因子で『日本人らしさ』と『自分らしさ』に差があることがわかった。特に第 3 因子と第 7 因子では明確に差あるといえる。

図表-2. 『日本人らしさ』と『自分らしさ』(n=112)

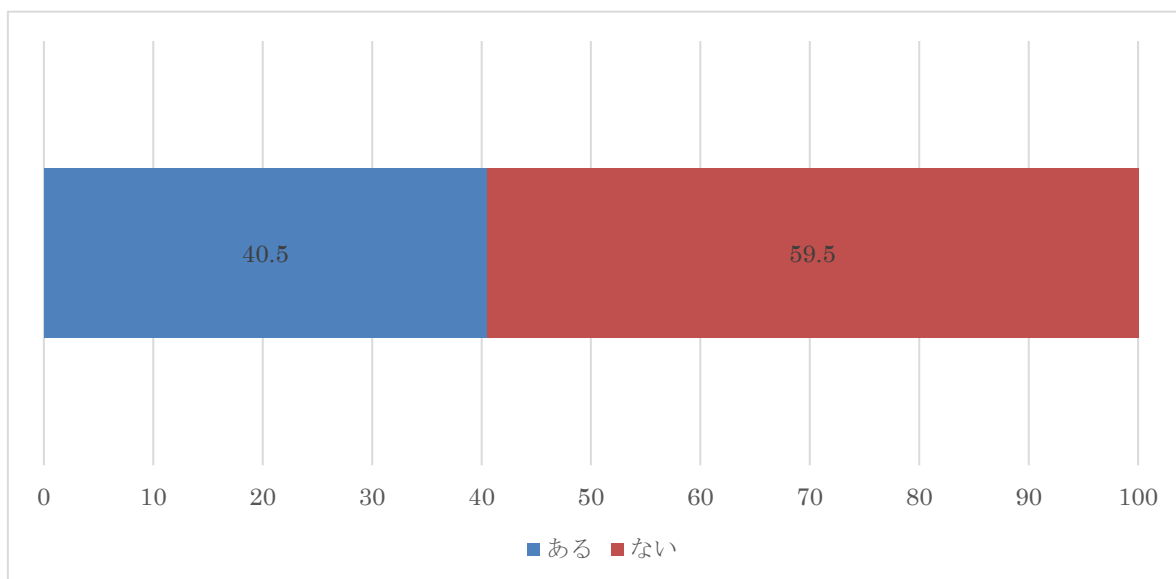


3-2 仮説②「海外に行ったことがある人ほど、外国や外国人に対する意識が好意的に変わってきている。または、日本や日本文化を大切にしようとする」と考える」に関する調査結果

### 3-2-1. 海外旅行経験の有無

海外旅行経験の有無を尋ねた。その結果が図表-3である。「ある」と答えた人が40.5%、「ない」と答えた人が59.5%であった。全体の約4割の人が海外旅行に行ったことがあるということがわかった。

図表-3. 海外旅行経験の有無 (n=111)



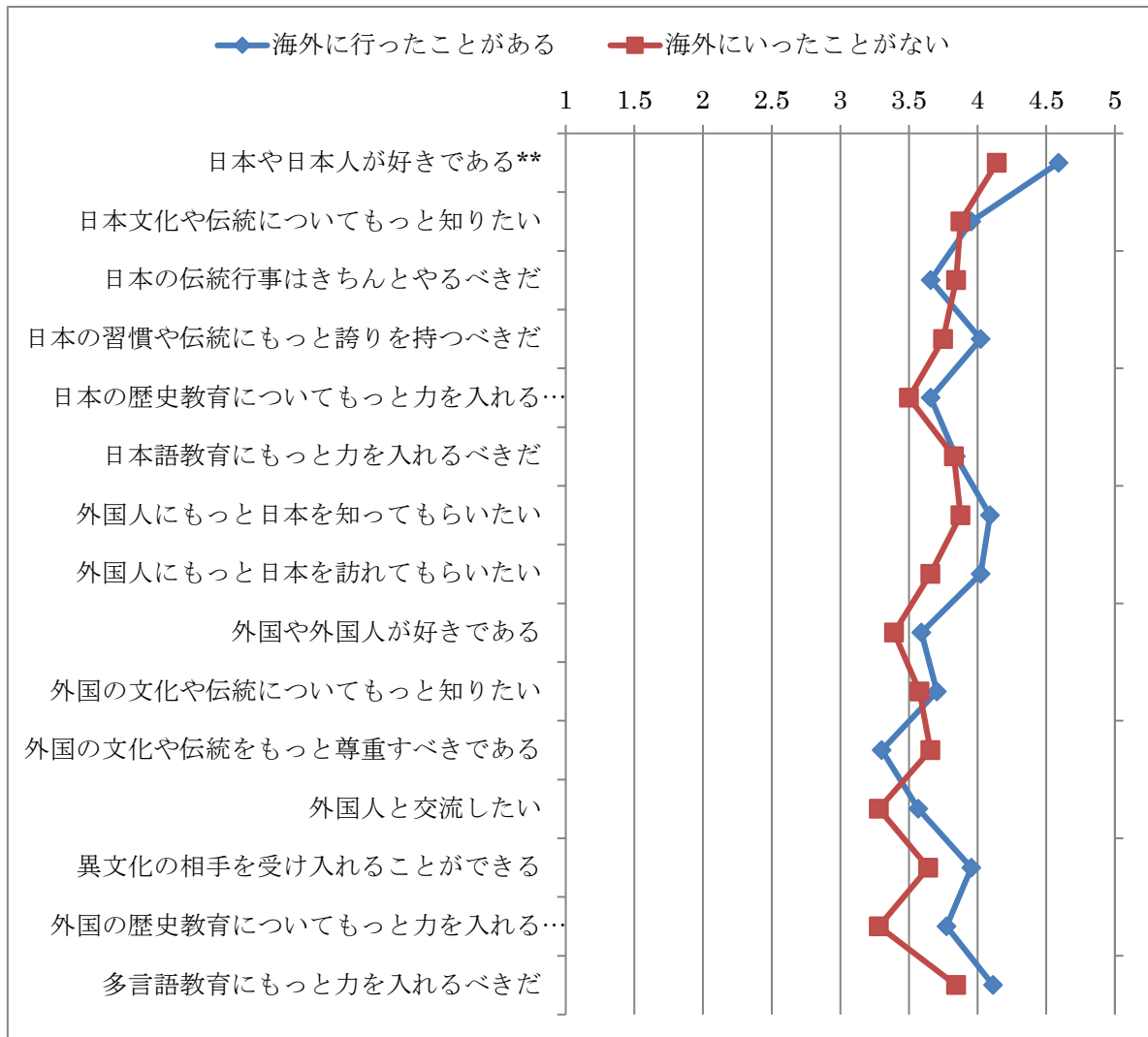
### 3-2-2. 海外旅行経験の有無と日本や外国への意識

海外に行ったことがある人とない人で日本や外国に対する意識に差があるのかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。その結果を表したのが図表-4 である。

T 検定の結果、「日本や日本人が好きである」( $t=2.709, df=106, p<.01$ )、「外国の歴史教育についてもっと力を入れるべきだ」( $t=2.502, df=106, p<.05$ )において有意差が見られた。それぞれの項目で、海外に行ったことがある人とない人の平均点を見てみると、「日本や日本人が好きである」では「海外に行ったことがある人」が 4.59 点、「海外に行ったことがない人」が 4.14 点であった。「外国の歴史教育についてもっと力を入れるべきだ」では「海外に行ったことがある人」が 3.77 点、「海外に行ったことがない人」が 3.28 点であった。これらの結果から海外に行ったことがある人とない人では、日本や外国に対する意識に差があり、「海外に行ったことがある人」には日本や外国への意識に変化が表れると言える。



図表-4. 海外旅行経験の有無と日本や外国への意識 (n=108)

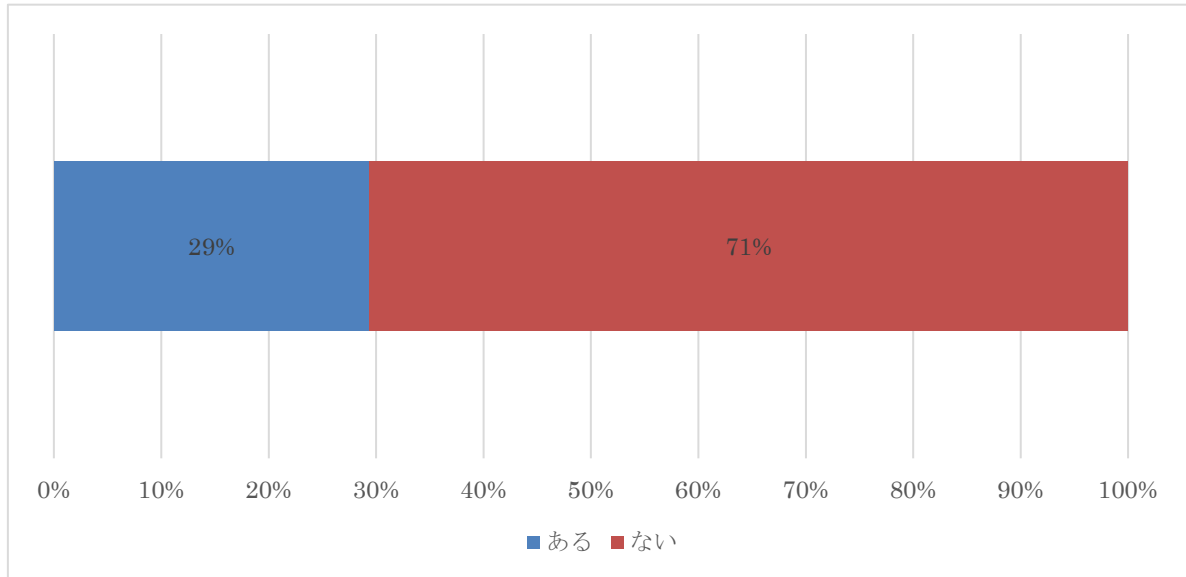


3-3. 仮説③「外国人との交流の機会を求める人ほど、外国や外国人に対する意識が好意的に変わってきている。または日本や日本文化を大切にしようとする」に関する調査結果

### 3-3-1. 外国人との交流の機会

外国人との交流の機会について尋ねた結果が図表-5 である。「ある」と答えた人が29%、「ない」と答えた人が72%であった。

図表-5. 外国人との交流の機会 (n=102)

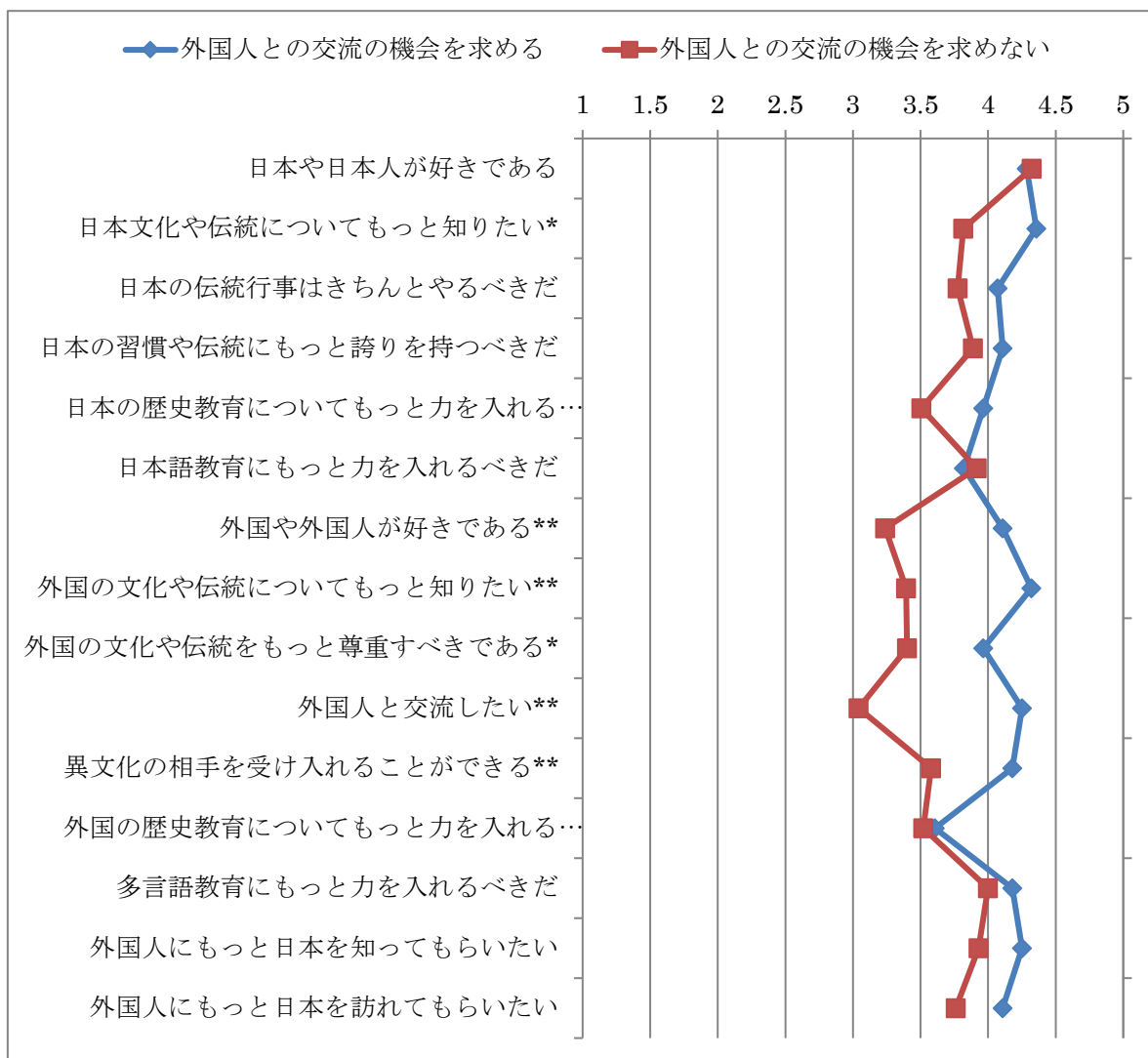


### 3-3-2. 外国人との交流の機会を求める人と日本や外国への意識

外国人との交流の機会を求める人と求めない人で日本や外国に対する意識に差があるかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。その結果を表したのが図表-6 である。

T 検定の結果、「日本文化や伝統についてもっと知りたい」( $t=2.420, df=97, p<.05$ )、「外国や外国人が好きである」( $t=4.188, df=97, p<.01$ )、「外国の文化や伝統についてもっと知りたい」( $t=4.241, df=97, p<.01$ )、「外国の文化や伝統をもっと尊重すべきである」( $t=2.581, df=96, p<.05$ )、「外国人と交流したい」( $t=4.863, df=97, p<.01$ )、「異文化の相手を受け入れることができる」( $t=2.745, df=97, p<.01$ )において有意差が見られた。それぞれの項目で、外国人との交流の機会を求める人と求めない人の平均点を見ると、「日本文化や伝統についてもっと知りたい」では「外国人との交流の機会を求める人」が 4.36 点、「外国人との交流の機会を求めない人」が 3.82 点であった。「外国や外国人が好きである」では「外国人との交流の機会を求める人」が 4.11 点、「外国人との交流の機会を求めない人」が 3.24 点であった。「外国の文化や伝統についてもっと知りたい」では「外国人との交流の機会を求める人」が 4.32 点、「外国人との交流の機会を求めない人」が 3.39 点であった。「外国の文化や伝統をもっと尊重すべきである」では「外国人との交流の機会を求める人」が 3.96 点、「外国人との交流の機会を求めない人」が 3.40 点であった。「外国人と交流したい」では「外国人との交流の機会を求める人」が 4.25 点、「外国人との交流の機会を求めない人」が 3.04 点であった。「異文化の相手を受け入れることができる」では「外国人との交流の機会を求める人」が 4.18 点、「外国人との交流の機会を求めない人」が 3.58 点であった。これらの結果から外国人との交流の機会を求める人と求めない人では、日本や外国に対する意識に差があり、「外国人との交流の機会を求める人」には日本や外国への意識に変化が表れると言える。

図表-6. 外国人との交流の機会を求める人と日本や外国への意識 (n=99)



### 3-4 仮説④「訪日外国人対策に賛成している人と反対しているで『日本人らしさ』に差が見られる」に関する調査結果

#### 3-4-1. 訪日外国人数の増加と訪日外国人対策の評価

訪日外国人数の増加と訪日外国人対策の評価について尋ねた結果が図表-7である。訪日外国人数の増加についての回答は、「とても良いと思う」が44%「やや良いと思う」28%「どちらともいえない」が22%「あまり良いと思わない」が4%「全く良いと思わない」2%であった。約7割の人（「とても良いと思う」+「やや良いと思う」）が訪日外国人数の増加について良いと評価をしていることが分かった。

訪日外国人受け入れ体制強化策である『公共交通乗り継ぎアクセス方法の改革』についての回答は、「とても賛成できる」が25%「やや賛成できる」が41%「どちらともいえない」が28%「あまり賛成できない」が5%「全く賛成できない」が2%であった。約6割の人（「とても賛成できる」+「やや賛成できる」）が賛成と回答しており、『公

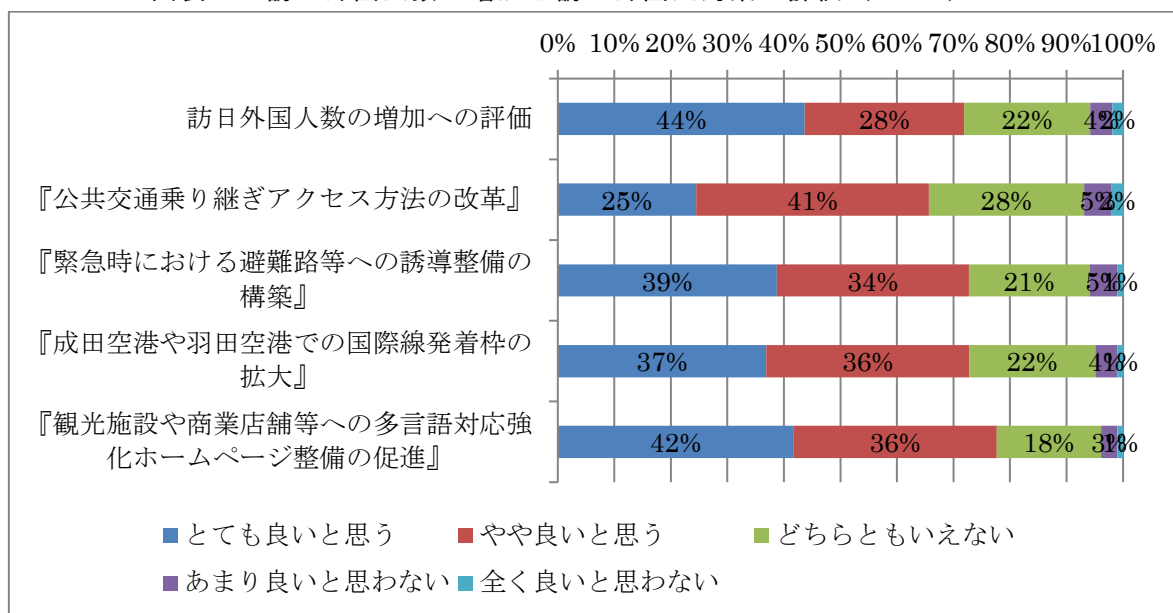
公共交通乗り継ぎアクセス方法の改革』について好意的に考えていることが分かった。

訪日外国人受け入れ体制強化策である『緊急時における避難路等への誘導整備の構築』についての回答は「とても賛成できる」が39%「やや賛成できる」が34%「どちらともいえない」が21%「あまり賛成できない」が5%「全く賛成できない」が1%であった。約7割の人（「とても賛成できる」＋「やや賛成できる」）が賛成と回答しており、『緊急時における避難路等への誘導整備の構築』について好意的に考えていることが分かった。

訪日外国人受け入れ体制強化策である『成田空港や羽田空港での国際線発着枠の拡大』についての回答は「とても賛成できる」が37%「やや賛成できる」が36%「どちらともいえない」が22%「あまり賛成できない」が4%「全く賛成できない」が1%であった。約7割の人（「とても賛成できる」＋「やや賛成できる」）が賛成と回答しており、『成田空港や羽田空港での国際線発着枠の拡大』について好意的に考えていることが分かった。

訪日外国人受け入れ体制強化策である『観光施設や商業店舗等への多言語対応強化ホームページ整備の促進』についての回答は「とても賛成できる」が42%「やや賛成できる」が36%「どちらともいえない」が18%「あまり賛成できない」が3%「全く賛成できない」が1%であった。約8割の人（「とても賛成できる」＋「やや賛成できる」）が賛成と回答しており、『観光施設や商業店舗等への多言語対応強化ホームページ整備の促進』について好意的に考えていることが分かった。

図表-7. 訪日外国人数の増加と訪日外国人対策の評価 (n=103)

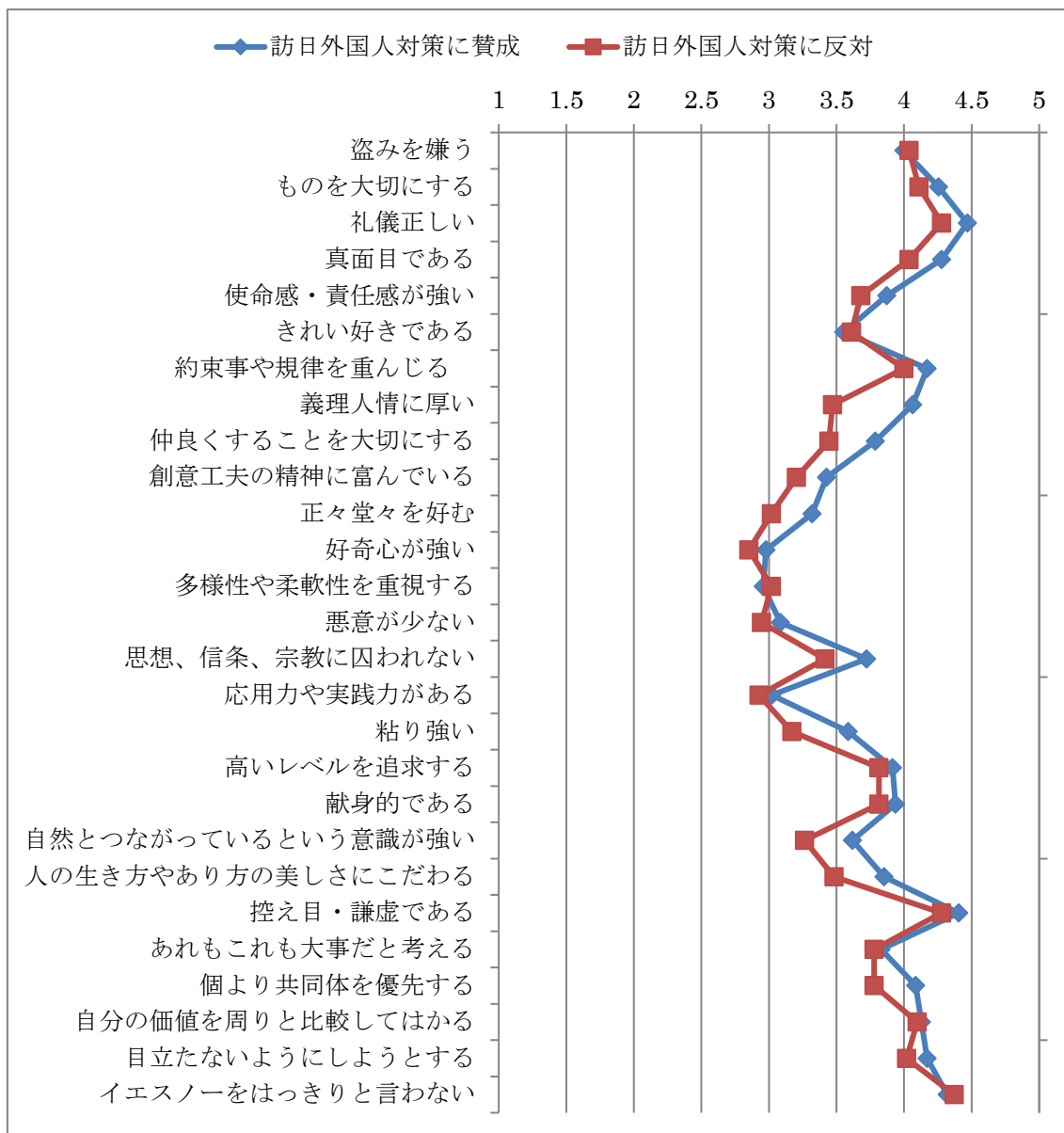


### 3-4-2. 訪日外国人対策への賛否と日本人らしさ

訪日外国人対策に賛成している人と反対している人で『日本人らしさ』に差があるかを調べるために独立したサンプルのT検定を行った。その結果を表したのが図表-8である。

T 検定の結果、すべての項目において有意差が見られなかった。よって、訪日外国人対策に賛成している人と反対しているで『日本人らしさ』に差がないと言える。

図表-8. 訪日外国人対策への賛否と日本人らしさ (n=101)



3-5 仮説⑤「日本や外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人で『日本人らしさ』に差が見られる」に関する調査結果

3-5-1. 日本に対する自分自身の意識と『日本人らしさ』

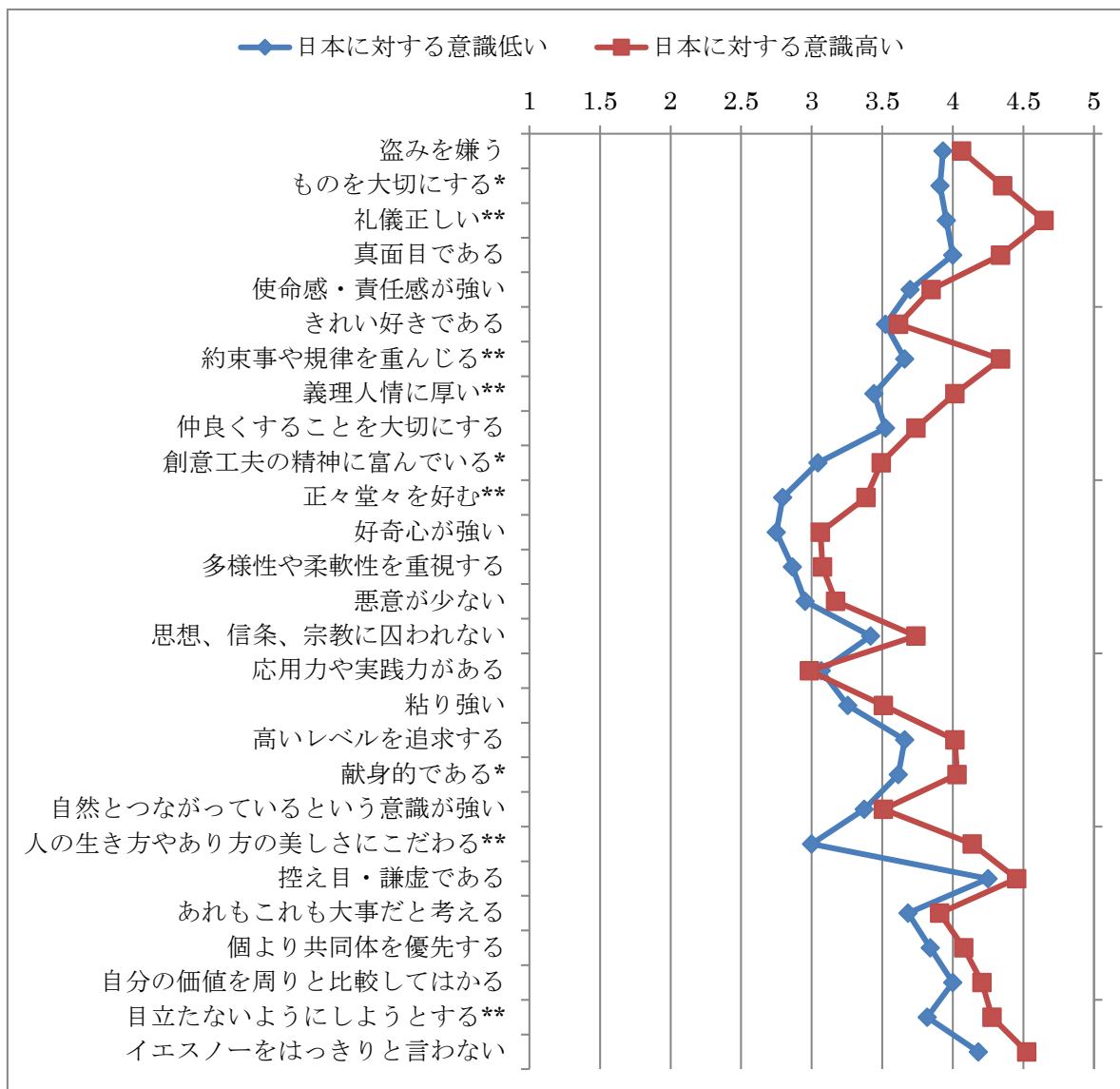
日本に対する自分自身の意識が高い人と低い人で『日本人らしさ』に差があるかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。その結果を表したのが図表-9 である。なお、日本に対する自分自身の意識が高い人と低い人は、日本に対する意識 8 項

目（「日本や日本人が好きである」「日本文化や伝統についてもっと知りたい」「日本の伝統行事はきちんとやるべきだ」「日本の習慣や伝統にもっと誇りを持つべきだ」「日本の歴史教育についてもっと力を入れるべきだ」「日本語教育にもっと力を入れるべきだ」「外国人にもっと日本を知ってもらいたい」「外国人にもっと日本を訪れてもらいたい」）の合計点を出し、その合計点の平均と比較し、分けた。

T検定の結果、「ものを大切にする」( $t=-2.399, df=107, p<.05$ )「礼儀正しい」( $t=-4.485, df=107, p<.01$ )「約束事や規律を重んじる」( $t=-3.592, df=107, p<.01$ )「義理人情に厚い」( $t=-2.724, df=106, p<.01$ )「創意工夫の精神に富んでいる」( $t=-2.142, df=107, p<.05$ )「正々堂々を好む」( $t=-2.579, df=107, p<.01$ )「献身的である」( $t=-2.325, df=107, p<.05$ )「人の生き方やあり方の美しさにこだわる」( $t=-5.980, df=107, p<.01$ )「目立たないようにしようとする」( $t=-2.628, df=107, p<.01$ )において有意差が見られた。

それぞれの項目で、日本に対する自分自身の意識が高い人と低い人の平均点を見てみると、「ものを大切にする」では「日本に対する意識が高い人」が4.35点、「日本に対する意識が低い人」が3.91点であった。「礼儀正しい」では「日本に対する意識が高い人」が4.65点、「日本に対する意識が低い人」が3.95点であった。「約束事や規律を重んじる」では「日本に対する意識が高い人」が4.34点、「日本に対する意識が低い人」が3.66点であった。「義理人情に厚い」では「日本に対する意識が高い人」が4.02点、「日本に対する意識が低い人」が3.44点であった。「創意工夫の精神に富んでいる」では「日本に対する意識が高い人」が3.49点、「日本に対する意識が低い人」が3.05点であった。「正々堂々を好む」では「日本に対する意識が高い人」が3.38点、「日本に対する意識が低い人」が2.80点であった。「献身的である」では「日本に対する意識が高い人」が4.03点、「日本に対する意識が低い人」が3.61点であった。「人の生き方やあり方の美しさにこだわる」では「日本に対する意識が高い人」が4.14点、「日本に対する意識が低い人」が3.00点であった。「目立たないようにしようとする」では「日本に対する意識が高い人」が4.28点、「日本に対する意識が低い人」が3.82点であった。これらの結果から日本に対する自分自身の意識が高い人と低い人では、『日本人らしさ』に差があり、「日本に対する意識が高い人」には『日本人らしさ』に変化が表れると言える。

図表-9. 日本に対する自分自身の意識と『日本人らしさ』(n=109)



### 3-9-2. 外国に対する自分自身の意識と『日本人らしさ』

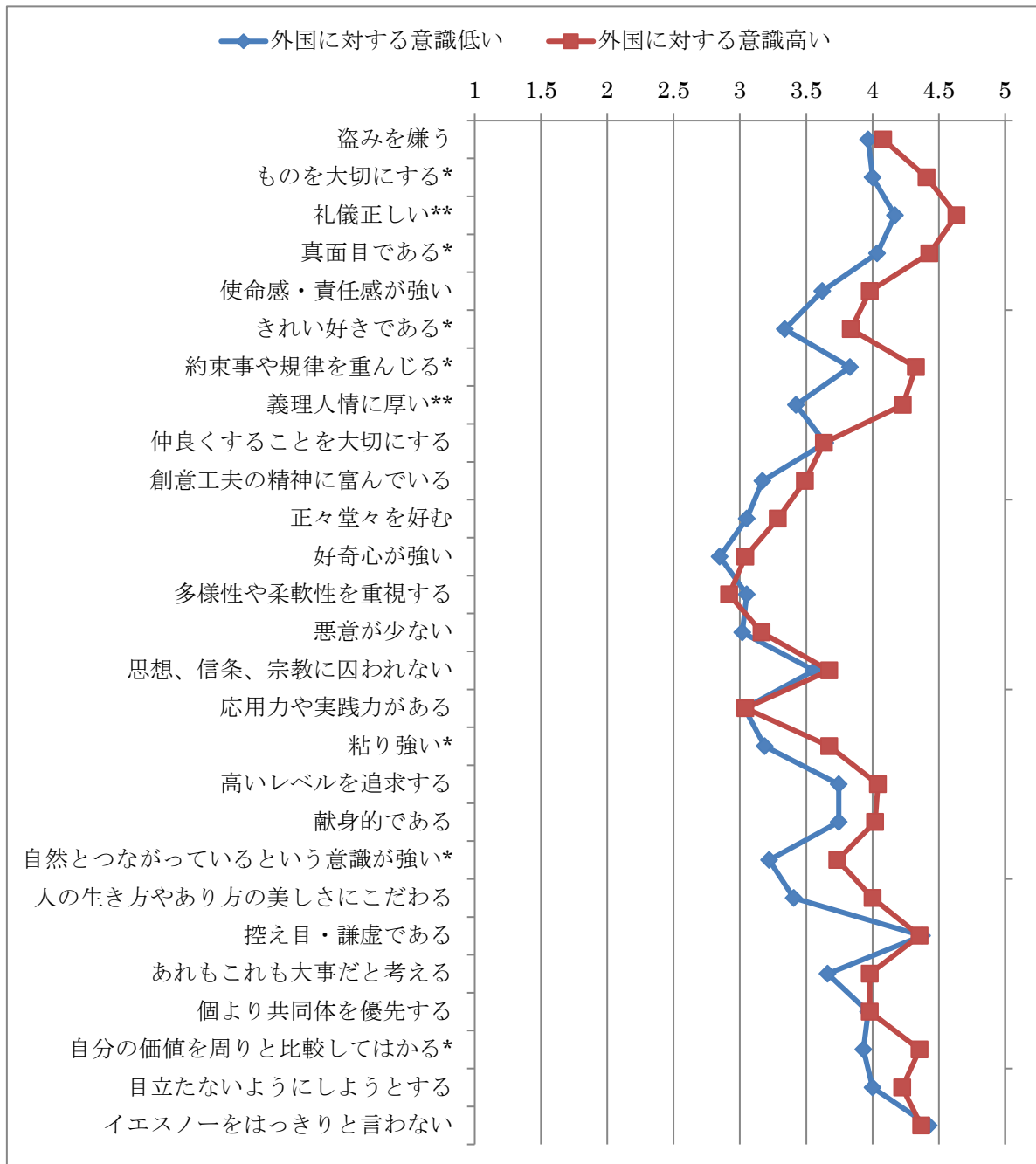
外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人で『日本人らしさ』に差があるかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。その結果を表したのが図表-10 である。なお、外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人は、外国に対する意識 7 項目（「外国や外国人が好きである」「外国の文化や伝統についてもっと知りたい」「外国の文化や伝統をもっと尊重すべきである」「外国人と交流したい」「異文化の相手を受け入れることができる」「外国の歴史教育についてもっと力を入れるべきだ」「多言語教育にもっと力を入れるべきだ」）の合計点を出し、その合計点の平均と比較し、分けた。

T 検定の結果、「ものを大切にする」(t=-2.221, df=106, p<.05)「礼儀正しい」(t=-2.914, df=106, p<.01)「真面目である」(t=-2.124, df=106, p<.05)「きれい好きで

ある」( $t=-2.529$ ,  $df=106$ ,  $p<.05$ )「約束事や規律を重んじる」( $t=-2.578$ ,  $df=106$ ,  $p<.05$ )「義理人情に厚い」( $t=-3.996$ ,  $df=105$ ,  $p<.01$ )「粘り強い」( $t=-2.211$ ,  $df=106$ ,  $p<.05$ )「自然とつながっているという意識が強い」( $t=-2.286$ ,  $df=106$ ,  $p<.05$ )「自分の価値を周りと比較してはかる」( $t=-2.322$ ,  $df=104$ ,  $p<.05$ )において有意差が見られた。それぞれの項目で、外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人の平均点を見てみると、「ものを大切にする」では「外国に対する意識が高い人」が4.41点、「外国に対する意識が低い人」が4.00点であった。「礼儀正しい」では「外国に対する意識が高い人」が4.63点、「外国に対する意識が低い人」が4.17点であった。「真面目である」では「外国に対する意識が高い人」が4.43点、「外国に対する意識が低い人」が4.03点であった。「きれい好きである」では「外国に対する意識が高い人」が3.84点、「外国に対する意識が低い人」が3.34点であった。「約束事や規律を重んじる」では「外国に対する意識が高い人」が4.33点、「外国に対する意識が低い人」が3.83点であった。「義理人情に厚い」では「外国に対する意識が高い人」が4.23点、「外国に対する意識が低い人」が3.42点であった。「粘り強い」では「外国に対する意識が高い人」が3.67点、「外国に対する意識が低い人」が3.19点であった。「自然とつながっているという意識が強い」では「外国に対する意識が高い人」が3.73点、「外国に対する意識が低い人」が3.22点であった。「自分の価値を周りと比較してはかる」では「外国に対する意識が高い人」が4.35点、「外国に対する意識が低い人」が3.93点であった。これらの結果から外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人では、『日本人らしさ』に差があり、「外国に対する意識が高い人」には『日本人らしさ』に変化が表れると言える。



図表-10. 外国に対する自分自身の意識と『日本人らしさ』(n=108)



#### 4. まとめと検証・考察

本調査の目的は、日本社会や日本人の生活が変化してきている現代だからこそ感じる『日本人らしさ』と『自分らしさ』の違いを明らかにすること。また、グローバル化に対する意識の差によって、『日本人らしさ』と『自分自身の意識』がどのように変化しているのかを明らかにすることであった。それらを解析するために5つの仮説を立てた。本章では、本調査で明らかになったことをまとめ、仮説を検証していきたい。

最初に仮説①『日本人らしさ』と『自分らしさ』には差が出始めている」について見ていきたい。『日本人らしさ』と『自分らしさ』に差があるのかを調べるために対応のあるサンプルの T 検定を行った結果、27 項目中の 18 項目で有意差が見られた。またそれぞれ日本人らしさに関する要素に当てはまり、第 1 因子「礼儀や規律を重んじ誠実」では 4 項目中 3 項目（有意差が見られた項目の割合：75%）、第 2 因子「チャレンジ精神」では 5 項目中 2 項目（有意差が見られた項目の割合：40%）第 3 因子「調和を重んじる」では 3 項目中 3 項目（有意差が見られた項目の割合：100%）第 4 因子「つながりを大切にする」では 5 項目中 3 項目（有意差が見られた項目の割合：60%）第 5 因子「正義感が強く細部にこだわる」では 6 項目中 4 項目（有意差が見られた項目の割合：66%）第 6 因子「追求心」では 2 項目中 1 項目（有意差が見られた項目の割合：50%）第 7 因子「自由」では 2 項目中 2 項目（有意差が見られた項目の割合：100%）で有意差が見られている。このことから『日本人らしさ』と『自分らしさ』には差があり、仮説は支持されたといえる。グローバル化の進行によって、外国人が来日したり、外国産の製品があつたりと日本で異文化に触れる機会が多くなっている。そうしたものに触れることで、異文化特有の感じ方や考え方が自分自身の意識として定着し、『日本人らしさ』と『自分らしさ』に差が表れたのではないかと考える。

次に仮説②「海外に行ったことがある人ほど、外国や外国人に対する意識が好意的に変わってきている。または、日本や日本文化を大切にしようとする」について見ていきたい。海外に行ったことがある人とない人で日本や外国に対する意識に差があるのかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。T 検定の結果、「日本や日本人が好きである」（ $t=2.709, df=106, p<.01$ ）、「外国の歴史教育についてもっと力を入れるべきだ」（ $t=2.502, df=106, p<.05$ ）において有意差が見られた。15 項目中 2 項目でしか有意差は出ておらず、仮説が支持されたとは言い難い。しかしそれぞれの項目で、海外に行ったことがある人とない人の平均点を比較してみると、海外に行ったことがある人とない人では、日本や外国に対する意識には差があり、「海外に行ったことがある」と日本や外国への意識に変化が表れることが分かった。海外に行くと異文化に触れる機会が格段に増える、そこでの異文化体験を通して、海外への興味や愛着が生まれ、意識に変化が表れたのではないかと考える。また海外に行くことによって、日本と海外の違いを強く感じたり、日本を俯瞰的に見ることができたりし、日本や日本文化に対する意識にも変化が表れたのではないかと考える。

仮説③「外国人との交流の機会を求める人ほど、外国や外国人に対する意識が好意的に変わってきている。または日本や日本文化を大切にしようとする」について見ていきたい。外国人との交流の機会を求める人と求めない人で日本や外国に対する意識に差があるかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。T 検定の結果、「日本文化や伝統についてもっと知りたい」（ $t=2.420, df=97, p<.05$ ）、「外国や外国人が好きである」（ $t=4.188, df=97, p<.01$ ）、「外国の文化や伝統についてもっと知りたい」

（ $t=4.241, df=97, p<.01$ ）、「外国の文化や伝統をもっと尊重すべきである」

（ $t=2.581, df=96, p<.05$ ）、「外国人と交流したい」（ $t=4.863, df=97, p<.01$ ）、「異文化の相手を受け入れることができる」（ $t=2.745, df=97, p<.01$ ）において有意差が見られた。15 項目中の 6 項目で有意差が出ているため、仮説が支持されたと言える。またそれぞ

れの項目で、外国人との交流の機会を求める人と求めない人の平均点を比較してみると、外国人との交流の機会を求める人と求めない人では、日本や外国に対する意識に差があり、「外国人との交流の機会を求める人」には日本や外国への意識に変化が表れることが分かった。「外国人との交流の機会を求める人」は異文化に対しての興味や関心がとても強く、積極的であるといえる。だから「外国人との交流の機会を求めない人」よりも異文化特有の感じ方や考え方が自分自身の意識として定着しやすく、日本や外国への意識に変化が表れたのではないかと考える。

仮説④「訪日外国人対策に賛成している人と反対しているで『日本人らしさ』に差が見られる」について見ていきたい。訪日外国人対策に賛成している人と反対しているで『日本人らしさ』に差があるかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。すると、すべての項目において有意差が見られなかった。そのためこの仮説は支持されなかった。

最後に仮説⑤「日本や外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人で『日本人らしさ』に差が見られる」について見ていきたい。

日本に対する自分自身の意識が高い人と低い人で『日本人らしさ』に差があるかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。T 検定の結果、「ものを大切にする」(t=-2.399, df=107, p<.05)「礼儀正しい」(t=-4.485, df=107, p<.01)「約束事や規律を重んじる」(t=-3.592, df=107, p<.01)「義理人情に厚い」(t=-2.724, df=106, p<.01)「創意工夫の精神に富んでいる」(t=-2.142, df=107, p<.05)「正々堂々を好む」

(t=-2.579, df=107, p<.01)「献身的である」(t=-2.325, df=107, p<.05)「人の生き方やあり方の美しさにこだわる」(t=-5.980, df=107, p<.01)「目立たないようにしようとする」(t=-2.628, df=107, p<.01)において有意差が見られた。27 項目中 9 項目において有意差が見られ仮説は支持されたと言える。またそれぞれの項目で、日本に対する自分自身の意識が高い人と低い人の平均点を比較してみると、日本に対する自分自身の意識が高い人と低い人では、『日本人らしさ』に差があり、「日本に対する意識が高い人」には『日本人らしさ』に変化が表れることが分かった。「日本に対する意識が高い人」は日本特有の感じ方や考え方が定着しやすく、より日本人らしく考え方が変化したために、『日本人らしさ』に差が表れたのではないかと考える。

また外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人で『日本人らしさ』に差があるかを調べるために独立したサンプルの T 検定を行った。T 検定の結果、27 項目中の 9 項目において有意差が見られた。T 検定の結果、「ものを大切にする」

(t=-2.221, df=106, p<.05)「礼儀正しい」(t=-2.914, df=106, p<.01)「真面目である」(t=-2.124, df=106, p<.05)「きれい好きである」(t=-2.529, df=106, p<.05)「約束事や規律を重んじる」(t=-2.578, df=106, p<.05)「義理人情に厚い」(t=-3.996, df=105, p<.01)「粘り強い」(t=-2.211, df=106, p<.05)「自然とつながっているという意識が強い」(t=-2.286, df=106, p<.05)「自分の価値を周りと比較してはかる」

(t=-2.322, df=104, p<.05)において有意差が見られた。27 項目中 9 項目において有意差が見られ、仮説が支持されたと言える。それぞれの項目で、外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人の平均点を比較してみると、外国に対する自分自身の意識が高い人と低い人では、『日本人らしさ』に差があり、「外国に対する意識が高い人」に

は『日本人らしさ』に変化が表れることが分かった。「外国に対する意識が高い人」は外国特有の感じ方や考え方が定着しやすく、『日本人らしさ』に変化が表れたのではないかと考える。

5つ中4つの仮説が支持されたため、本調査の目的を達成することが出来たと言える。

## 参考文献

JNTO（日本政府観光局）

「ビジットジャパン事業開始以降の訪日客数の推移（2003年～2015年）」

[http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/marketingdata\\_tourists\\_after\\_vj.pdf](http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/marketingdata_tourists_after_vj.pdf)、  
2017年2月22日閲覧

社団法人倫理研究所 2011年

「日本人らしさとは何か？～定量調査で明らかにする日本人としての気質・世界観・倫理観～」

<http://www.rinri-jpn.or.jp/images/business/research/investigation/pdf/2011.pdf>、  
2017年2月22日閲覧

マイナビニュース 2016年8月8日

「国交省、羽田空港機能強化で関係自治体等に騒音・環境等に配慮した方策発表」

<http://news.livedoor.com/article/detail/11863206/>、2017年2月22日閲覧

早矢仕，彩子 2002年7月31日

「日本人学生の留学体験と自己に関する意識の変化に関する縦断的研究」

<https://ir.lib.shizuoka.ac.jp/bitstream/10297/442/1/KJ00004293281.pdf>、  
2017年2月22日閲覧

文部科学省集計 2016年3月 「日本人の海外留学状況」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2016/11/11/1345878\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/__icsFiles/afieldfile/2016/11/11/1345878_1.pdf)、  
2017年2月22日閲覧

## 日本人に関する調査

2016年12月

所属：文教大学情報学部メディア表現学科3年「メディア調査研究法Ⅲ」  
 調査員氏名：沓掛雅哉  
 担当教員名：日吉昭彦

この度、授業の一環として「日本人」についてアンケート調査を行うことになりました。回答者のプライバシー保護に配慮し、ご回答は全て統計的に処理致します。お忙しいところ申し訳ございませんが、ご協力よろしくお願い致します。

### 【ご記入にあたってのお願い】

- (1) 調査には、必ず調査票を受け取った本人がご回答・ご記入お願い致します。
- (2) お答えになりにくい質問は無回答でも構いません。
- (3) それぞれの質問の指示に従い、あてはまる番号に○をつけるか、文字や数字を記入してください。
- (4) 質問は全部で 個です。回答にかかる時間は約10分です。
- (5) ご記入は黒色の筆記用具でお願い致します。回答を訂正する場合は消しゴムや×印などを用いて、訂正したことを明示してください。
- (6) 過去に全く同じ調査を受けたことがある方は無記入でお願いします。
- (7) ご不明な点がありましたら調査員にお聞きください。

整理番号 \_\_\_\_\_

Q1.『日本人らしさ』として当てはまるものに○を付けてください。

項目	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1.盗みを嫌う	40.2	36.6	10.7	10.7	1.8
2.ものを大切にする	46.4	34.8	11.6	5.4	1.8
3.礼儀正しい	56.3	28.6	11.6	2.7	0.9
4.真面目である	50	26.8	17.9	3.6	1.8
5.使命感・責任感が強い	32.4	31.5	19.8	15.3	0.9
6.きれい好きである	18.8	38.4	29.5	8.9	4.5
7.約束事や規律を重んじる	39.3	40.2	10.7	7.1	2.7
8.義理人情に厚い	27.9	42.3	12.6	14.4	2.7
9.仲良くすることを大切に	26.8	30.4	26.8	11.6	4.5
10.創意工夫の精神に富んでいる	15.2	28.6	31.3	20.5	4.5
11.正々堂々を好む	17	17.9	36.6	19.6	8.9
12.好奇心が強い	17	11.6	27.7	36.6	7.1
13.多様性や柔軟性を重視する	9.8	24.1	27.7	31.3	7.1
14.悪意が少ない	9.8	25.9	32.1	25.9	6.3
15.思想、信条、宗教に囚われない	29.7	29.7	20.7	12.6	7.2
16.応用力や実践力がある	8	20.5	42.9	23.2	5.4
17.粘り強い	20.9	25.5	31.8	16.4	5.5
18.高いレベルを追求する	32.1	35.7	20.5	10.7	0.9
19.献身的である	26.8	39.3	27.7	4.5	1.8
20.自然とつながっているという意識が強い	21.6	28.8	25.2	18	6.3
21.人の生き方やあり方の美しさにこだわる	25.9	33.9	24.1	11.6	4.5
22.控え目・謙虚である	55.9	30.6	10.8	0.9	1.8
23.あれもこれも大事だと考える	28.6	34.8	28.6	7.1	0.9
24.個より共同体を優先する	42	27.7	17.9	9.8	2.7
25.自分の価値を周りと比較してはかる	43.1	33	17.4	5.5	0.9
26.目立たないようにしようとする	36.6	42	16.1	3.6	1.8
27.イエスノーをはっきりと言わない	62.5	22.3	8.9	4.5	1.8

Q2.『自分らしさ』に当てはまるものに○を付けてください。

項目	当てはまる	多少当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1.盗みを嫌う	55.4	35.7	4.5	2.7	1.8
2.ものを大切にする	32.4	36.9	25.2	3.6	1.8
3.礼儀正しい	25.9	34.8	30.4	8	0.9
4真面目である	32.1	30.4	24.1	11.6	1.8
5.使命感・責任感が強い	24.3	34.2	21.6	17.1	2.7
6.きれい好きである	17.1	26.1	32.4	18	6.3
7.約束事や規律を重んじる	27.7	43.8	20.5	8	0
8.義理人情に厚い	32.4	29.7	21.6	15.3	0.9
9.仲良くすることを大切に	33.9	33.9	12.5	14.3	5.4
10.創意工夫の精神に富んでいる	18.8	25	23.2	31.3	1.8
11.正々堂々を好む	32.1	31.3	21.4	12.5	2.7
12.好奇心が強い	36	33.3	17.1	12.6	0.9
13.多様性や柔軟性を重視する	17.9	40.2	27.7	11.6	2.7
14.悪意が少ない	25	31.3	21.4	13.4	8.9
15.思想、信条、宗教に囚われない	56.3	23.2	12.5	6.3	1.8
16.応用力や実践力がある	13.4	19.6	29.5	30.4	7.1
17.粘り強い	24.1	25.9	25	20.5	4.5
18.高いレベルを追求する	25	31.3	19.6	22.3	1.8
19.献身的である	21.4	23.2	33	16.1	6.3
20.自然とつながっているという意識が強い	15.2	21.4	24.1	22.3	17
21.人の生き方やあり方の美しさにこだわる	19.6	25	19.6	27.7	8
22.控え目・謙虚である	29.5	24.1	29.5	13.4	3.6
23.あれもこれも大事だと考える	26.8	35.7	20.5	12.5	4.5
24.個より共同体を優先する	16.1	21.4	35.7	20.5	6.3
25.自分の価値を周りと比較してはかる	34.8	28.6	23.2	10.7	2.7
26.目立たないようにしようとする	26.8	33.9	16.1	19.6	3.6
27.イエスノーをはっきりと言わない	24.1	22.3	22.3	22.3	8.9

Q3-1 あなたは海外旅行に行ったことはありますか。

1. ある	40.5%	2. ない	59.5%
-------	-------	-------	-------

Q3-2.あなたは今までに何回海外旅行に行ったことがありますか。

回
---

Q3-3.あなたはどこに、どのような目的で海外旅行に行きましたか。複数回答可

どこ ( )
目的 ( )

Q4-1.外国のニュースについて調べる回数はどのくらいですか。

1. 月1回 6.3%	2. 月2~3回 7.1%	3. 週1回 17%	4. 週2~3回 8%
5. 週4~6回 2.7%	6. 毎日 2.7%	7. ほとんど調べることはない 56.3%	

Q4-2.外国のニュースに触れた際にどのように感じる人が多いですか。複数回答可

1. 日本への影響の不安を感じる 42.9%	2. 日本と外国の価値観の違いを感じる 44.6%
3. 外国は恐ろしさを感じる 25%	4. 外国は言動が過激だと感じる 14.3%
5. 思想や宗教の影響力が強いと感じる 31.3%	6. 世界とのつながりや関わりを感じる 17.9%
7. 世界の不条理を感じる 8.9%	8. 日本の良さを感じる 29.5%
9. 歩んできた歴史の違いを感じる 19.6%	10. その他 ( ) 3.6%

Q5-1.外国のトレンドや文化について調べる回数はどのくらいですか。

1. 月1回 11.6%	2. 月2~3回 9.8%	3. 週1回 10.7%	4. 週2~3回 8%
5. 週4~6回 0.9%	6. 毎日 1.8%	7. ほとんど調べることはない 57.1%	

Q5-2.外国のトレンドや文化に触れた際にどのように感じる人が多いですか。複数回答可

1. ユニークだ 47.3%	2. おしゃれだ 25%
3. 考え方が豊だ 36.6%	4. 面白いことが多い 29.5%
5. あこがれる 11.7%	6. 楽しそう 26.8%
7. その国に行ってみたい 17%	8. その国について調べたい 1.8%
9. 真似をしたい 2.7%	10. その他 ( ) 4.5%

Q6-1.あなたは日本と外国の違いを感じたことはありますか。

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. とても感じる 61.6%   | 2. やや感じる 33.9% |
| 3. どちらともいえない 1.8% |                |
| 4. あまり感じない 1.8%   | 5. 全く感じない 0.9% |

Q6-2.あなたが日本と外国の違いを感じるのとはどのようなときですか。複数回答可

- |                               |                     |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 外国の食べ物を食べるとき 36.6%         | 2. 外国の音楽を聞くとき 22.3% |
| 3. 外国の映画を見たとき 42%             | 4. 外国語を聞くとき 22.3%   |
| 5. 国際的な事故・事件のニュースに触れたとき 50.9% |                     |
| 6. その他 ( ) 7.2%               |                     |

Q7-1.外国人との交流の機会を求めることはありますか。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. ある 29.4% | 2. ない 70.6% |
|-------------|-------------|

Q7-2.次のような外国人との交流の機会が得られる場やサービスで利用したいと思うのはどれですか。複数回答可

- |                              |                  |                      |
|------------------------------|------------------|----------------------|
| 1. 複数人でのご飯 16.1%             | 2. 少人数でのご飯 13.4% | 3. スポーツイベント 14.3%    |
| 4. 映画鑑賞会 10.7%               | 5. 旅行プラン 16.1%   | 6. 音楽ライブ・フェス 25%     |
| 7. 外国語の授業 15.2%              | 8. 合コン 5.4%      | 9. ゲームのオンライン対戦 28.6% |
| 10. SNS のコミュニケーションサービス 23.2% | 11. その他 ( ) 4.5% |                      |

Q8.訪日外国人の増加についてどのように思いますか。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. とても良いと思う 43.7%  | 2. やや良いと思う 28.2%  |
| 3. どちらともいえない 22.3% |                   |
| 4. あまり良いと思わない 3.9% | 5. 全く良いと思わない 1.9% |

Q9-1.訪日外国人旅行者の増加を目的とした訪日プロモーション事業、ビジットジャパン事業を知っていますか。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 知っている 18.4% | 2. 知らない 81.6% |
|----------------|---------------|

Q9-2.ビジットジャパン事業開始以降、訪日外国人数が 521 万人 (2003 年) から 1974 万人 (2015 年) に増加していることについてどのように思いますか。複数回答可

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 訪日外国人の取り込みに成功している 51.8% |
| 2. 訪日外国人がまだまだ足りない 10.7%    |
| 3. 訪日プロモーションが不足している 6.3%   |

- |                               |
|-------------------------------|
| 4. これ以上訪日を促す必要はない 5.4%        |
| 5. ビジットジャパン事業は社会に貢献している 20.5% |
| 6. その他 ( ) 3.6%               |

Q9-3.地域への外国人訪問者数ランキング (2015 年) では日本は世界で 16 位、アジアで 6 位の実績についてどのように思いますか。複数回答可

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 訪日外国人の取り込みに成功している 27.7% |
| 2. 訪日外国人がまだまだ足りない 25%      |
| 3. 訪日プロモーションが不足している 5.4%   |
| 4. これ以上順位を上げる必要はない 15.2%   |
| 5. 日本は世界で注目されている 22.3%     |
| 6. その他 ( ) 4.5%            |

Q9-4.2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国や地方公共団体、民間が訪日外国人の受け入れ体制強化を行っていることについてどのように思いますか。複数回答可

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 訪日外国人の受け入れ体制強化に成功している 20.5%     |
| 2. 訪日外国人の受け入れ体制強化がまだまだ足りない 60.7%   |
| 3. 訪日外国人の受け入れ体制強化がこれ以上する必要はない 2.7% |
| 4. その他 ( ) 7.2%                    |

Q10-1.訪日外国人受け入れ体制強化策である『公共交通乗り継ぎアクセス方法の改革』についてどのように思いますか。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. とても賛成できる 24.5%  | 2. やや賛成できる 41.2% |
| 3. どちらともいえない 27.5% |                  |
| 4. あまり賛成できない 4.9%  | 5. まったく賛成できない 2% |

Q10-2.訪日外国人受け入れ体制強化策である『緊急時における避難路等への誘導整備の構築』についてどのように思いますか。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. とても賛成できる 38.8%  | 2. やや賛成できる 34%   |
| 3. どちらともいえない 21.4% |                  |
| 4. あまり賛成できない 4.9%  | 5. まったく賛成できない 1% |

Q10-3.訪日外国人受け入れ体制強化策である『成田空港や羽田空港での国際線発着枠の拡大』についてどのように思いますか。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. とても賛成できる 36.9%  | 2. やや賛成できる 35.9% |
| 3. どちらともいえない 22.3% |                  |
| 4. あまり賛成できない 3.9%  | 5. まったく賛成できない 1% |

Q10-4.訪日外国人受け入れ体制強化策である『観光施設や商業店舗等への多言語対応強化ホームページ整備の促進』についてどのように思いますか。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. とても賛成できる 41.7%  | 2. やや賛成できる 35.9% |
| 3. どちらともいえない 18.4% |                  |
| 4. あまり賛成できない 2.9%  | 5. まったく賛成できない 1% |

Q11.『自分自身の意識』として当てはまるものに○を付けてください。

項目	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. 日本や日本人が好きである	2.8%	3.7%	11%	39.4%	49.5%
2. 日本文化や伝統についてもっと知りたい	0.9%	11.9%	18.3%	33.9%	34.9%
3. 日本の伝統行事はきちんとやるべきだ	3.7%	9.2%	25.7%	30.3%	31.2%
4. 日本の習慣や伝統にもっと誇りを持つべきだ	2.8%	10.1%	22.9%	27.5%	36.7%
5. 外国や外国人が好きである	2.8%	12.8%	33.9%	34.9%	15.6%
6. 外国の文化や伝統についてもっと知りたい	3.7%	11%	29.4%	31.2%	24.8%
7. 外国の文化や伝統をもっと尊重すべきである	3.7%	13%	27.8%	38.9%	16.7%
8. 外国人と交流したい	5.5%	23.9%	22%	22.9%	25.7%
9. 異文化の相手を受け入れることができる	2.8%	7.3%	24.8%	40.4%	24.8%
10. 日本の歴史教育についてもっと力を入れるべきだ	2.8%	12.8%	33.9%	25.7%	24.8%
11. 外国の歴史教育についてもっと力を入れるべきだ	2.8%	12.8%	35.8%	30.3%	18.3%
12. 日本語教育にもっと力を入れるべきだ	3.7%	4.6%	27.5%	33.9%	30.3%
13. 多言語教育にもっと力を入れるべきだ	0.9%	7.3%	22%	35.8%	33.9%
14. 外国人にもっと日本を知ってもらいたい	1.8%	6.4%	22%	33.9%	35.8%
15. 外国人にもっと日本を訪れてもらいたい	2.8%	7.3%	26.6%	33.9%	35.8%

グローバル化に対する意識と日本人らしさの質問は以上になります。  
最後にあなたについてお聞かせください。

F1.あなたの性別を教えてください。

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 男性 57.1% | 2. 女性 40.2% | 無回答 2.7% |
|-------------|-------------|----------|

F2.あなたの所属する学部・学科・学年を教えてください。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 情報 100%    | 学部           |
| 広報 8.9%    | メディア表現 35.7% |
| システム 34.8% | 情報社会 15.2%   |
| 学科         |              |

質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。